

臨床発達心理士 認定申請ガイド 新旧対応表

	2021年度（新）	2020年度（旧）
p.9	<p>②提出書類</p> <p>a) 在職証明書：これは、臨床実習に換算する臨床経験を証明するものです。様式は、様式6「在職証明書」を使用します。書き方は、様式の説明に従います（p.33～p.36参照）。</p> <p>b) 臨床実習修了証明書での内訳の明示：様式4-1「臨床実習修了証明書」に、臨床経験をを換算した臨床実習の時間数の内訳（%）を示して下さい（p.29参照）。具体的には以下の例のように記載します。また、「臨床実習における指導の経過」で、換算された臨床経験全てがスーパーバイザーの指導を受けていることを示す必要があります。スーパーバイザーの所属機関名・職名・氏名およびスーパーバイズの概要を記入してください。様式4-2「臨床実習修了見込証明書」も同様に記入してください。</p>	<p>②提出書類</p> <p>a) 在職証明書：これは、臨床実習に換算する臨床経験を証明するものです。様式は、様式6「在職証明書」を使用します。書き方は、様式の説明に従います（p.33～p.36参照）。</p> <p>b) スーパーバイザーなどの意見書：スーパーバイザーの指導を受けたことを証明するためのものです。様式は、大学院で正規に実習を行った際のケースや活動についての実習報告の場合には、様式10「スーパーバイズ証明書（タイプII用）」を使用します。</p> <p>c) 臨床実習修了証明書での内訳の明示：様式4-1「臨床実習修了証明書」に、臨床経験をを換算した臨床実習の時間数の内訳（%）を示して下さい（p.29参照）。具体的には以下の例のように記載します。また、「臨床実習における指導の経過」で、換算された臨床経験全てがスーパーバイザーの指導を受けていることを示す必要があります。様式4-2「臨床実習修了見込証明書」も同様に記入してください。</p>
p.32	<p>【臨床発達課題報告書（タイプIV）】</p> <p>（前略）・・・支援の効果をどのように検証するかについて、なるべく具体的に、かつ簡潔に1,000字～1,200字で両面印刷で1枚にまとめてください。提出に際しては、機構ウェブサイトより様式5-3をダウンロードして使用してください。</p>	<p>【臨床発達課題報告書（タイプIV）】様式5-3</p> <p>（前略）・・・支援の効果をどのように検証するかについて、なるべく具体的に、かつ簡潔に1,000字～1,200字で1ページにまとめてください。提出に際しては、別冊「申請書類在中」にある①「臨床発達課題報告書（タイプIV）（様式5-3）」に記載の上、②A4用紙1ページ（35字×36行、フォントの大きさは12P）に上記の報告を記述・印刷し、①と②をホチキスで留めて提出してください。</p>

	2021年度（新）	2020年度（旧）
p.34, 35	<p>【機関名・所在地・所属長職名・氏名・公印】 (削除)</p>	<p>【機関名・所在地・所属長職名・氏名・公印】 所属長の氏名については原則として本人による自署が必要となります。</p>
p.41	<p>【著書・学術論文などの表題】 (削除)</p>	<p>【著書・学術論文などの表題】 長い表題の場合には、副題を省いても構いません。省いた場合は、研究業績概要（別紙）で全体の表題を示します。</p>
p.41	<p>【研究業績概要】 業績番号・表題・著者名（共著の場合には全員の名前，公刊された業績の順で）を書き，改行して①研究内容の概要（200字程度）、②臨床発達心理学への貢献（200字程度），③1ページあたりの字数と総ページ数，総字数を記入します。</p>	<p>【研究業績概要】 業績番号・表題・著者名（共著の場合には全員の名前，公刊された業績の順で）を書き，改行して200字程度の概要を記入します。その後改行して，1ページあたりの字数と総ページ数，総字数を記入します。</p>
p.48	<p>現職者で大学院在学中の方が臨床経験を臨床実習時間に換算して申請する場合も様式10(1)を使用し，大学院修士課程で正規に行った実習のスーパーバイザーに記入を依頼してください。なお、換算された臨床経験がスーパーバイザーの指導を受けた上で行われたことの証明は、様式4-1における臨床実習指導教員の署名をもって行われます。</p>	<p>現職者で大学院在学中の方が臨床経験を臨床実習時間に換算して申請する場合は次のとおりにしてください。臨床経験期間中のケースについては「様式10(2)」を，大学院修士課程で正規に実習を行った場合は様式10(1)を使用し，実習のスーパーバイザーに記入を依頼してください。</p>